

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道193号倉羅バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県吉野川市美郷字古井 至：徳島県名西郡神山町上分字名ヶ平			延長	3.5 km	
事業概要	<p>一般国道193号は、香川県高松市から徳島県海部郡海陽町に至る延長161kmの幹線道路であり、吉野川市古井地区及び神山町名ヶ平地区にとっては唯一の生活道路である。倉羅バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.5kmの2車線道路である。</p>					
H4年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H6年度用地着手	H7年度工事着手			
全体事業費	約105億円	事業進捗率	44%	供用済延長	km	
計画交通量	700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 49/107億円 (事業費: 46/104億円 維持管理費: 3/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 117/117億円 (走行時間短縮便益: 115/115億円 走行費用減少便益: 2/2億円 交通事故減少便益: 0/0億円)	基準年 平成18年		
感度分析の結果	-----					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え（徳島県地域防災計画において緊急輸送路として位置づけられている。事前通行規制区間が解消される。防災点検での落石危険要対策箇所4箇所をトンネルで回避する。） ・個性ある地域の形成（神山町をはじめとする観光地へのアクセス向上が期待される。）他6項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	従来より、四国横断線改良促進期成同盟会及び国道193号倉羅トンネル開さく促進期成同盟会において、倉羅バイパスの早期整備が要望されており、また地元の吉野川市及び神山町からも強い要望がある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成16年に美郷村を含む4町村が合併した「吉野川市」では、市民が生き生きと活動する利便性の高いまちづくりを推進する観点から、県南部地域と連絡する本路線の重要性が高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	吉野川市側の古井1号橋及び倉羅大橋を含む0.4kmは完成済みである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後は関連区間の整備及び残る用地取得を行い、早期に倉羅トンネルを整備し、平成20年代半ばの完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	特になし。					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。